

2026 年夏 TC 技術検定 3 級テクニカルライティング [TW] 記述試験の出題意図

冬試験同様に、テクニカルライティング試験の記述は、『日本語スタイルガイド』の第 2 編（2 章、3 章）、第 3 編、第 4 編をそれぞれの問の中心スキルにおいて 4 問出題されている。第 1 編、第 2 編 1 章のスキルは、出題の中にちりばめられている。問題のパターン、提示される情報の形式、問題文も統一されている。多くは、一塊の情報から手順や利用方法などに書き直すもの、テーマに即した一塊の情報から指定された視点の箇所（文や語句）を見つけて、指摘したり、書き直すものである。また、元の情報と書き直したものから抜けている情報を見つけたり、2 つ以上の情報から新たな情報を書き足すといったものである。いずれにしても、元の情報を読み込むことと、出題の意図を理解し（読解力）、合致するものを探し（論理的思考）、指定された形式で記述する（表現力）という、基本スキルを問うものである。

【課題 1】

社内ポータルサイト移行に伴う変更点と注意事項の通知メールが題材。メールの文章案に対して、1 文が長すぎるもの、助詞の使い方が間違っているもの、主体が明確になっていないものなどを探し出し、執筆ルールに従って書き直す。さらに、読点のない文に対して、読点のルールに従って、入れる問題。間違い探しではなく、ルールに適合しているかを見つけられれば解答できる。

【課題 2】

自治会館の利用案内の見直しが題材。見直す文案に対して、漢字の間違い、冗長な表現、複数の意味にとれる表現、二重否定で誤解を招く表現などを見つけ、執筆ルールに従って書き直す。また、変更点に伴う案内文の書き直しも含まれる。どれも、条件に合ったものを見つけ出し、最小限の修正で書き直せば解答できる。

【課題 3】

自転車の交通ルールの変更に伴う社内利用規程の改定が題材。認知科学に基づく改善案、誤変換による語句、略語、通俗的な表現、重複表現など、を見つけ別の表現で書き直す。どれも、指摘する視点が何を指しているかわかれば、適切に考え解答できる。

【課題 4】

社内で使用するクラウド型システムの「ユーザーガイド」から「クイックガイド」の目次構成をつくるのが題材。「クイックガイド」を作成する方針と、すでに書かれた見出しを参照し、残りの見出しを記述する。さらに、一つの見出しに対するリード文をルールに従って、指定された文字数で記述する。方針に従い書き直せば解答できる。